

玉島保育園三者協議会（第21回）会議録

1 日 時

令和1年6月15日（土） 午前9時から

2 場 所

玉島保育園

3 出席者

- ・玉島保育所保護者
- ・社会福祉法人 親和会
- ・保育幼稚園総務課

4 案件

- (1) アンケート結果及び園の対応について
- (2) その他

5 発言要旨

(市) 皆さん、おはようございます。

今日は、公私何かとお忙しい中、ご出席いただきまして、ありがとうございます。

これより玉島保育園の第21回三者協議会を開催いたします。

議事につきましては、三者協議会の議長であります。保育幼稚園総務課長の山寄が進行いたします。

(市) それでは、早速でございますが、会議次第に沿って進めさせていただきます。

まず、案件の1つ目、「園舎建て替えについて」でございます。

こちらにつきましては、法人様からご説明いただけるということでございますので、では、よろしく願いいたします。

(法 人) おはようございます。

足元の悪い中、ご出席ありがとうございます。

ずい分前から園舎を建て替えると言いながら、また、ご賛同得るように一生懸命努力してやってきたところなんですけれども、ちょ

っと客観情勢から見て、いわゆる建築費そのものを、建て替えようかというときのイメージと、その後の建築費の費用との差を考えた場合に、これはちょっと無理やなという感じがしてきました。

御存じのように、前に松ヶ本認定こども園を建て替えたわけですが、そのときで認定こども園建て替えるのに3億円程度でいけるということでやってまして、事実、3億2,000万円のお金でできました。その場合ですと、園舎建設の費用にしても補助金が1億8,000万円でしたか、出たと思います。だから、残りを考えても3億そこそこのですと、まあ言うたら、借金と手前にお金でいけるということでやって。そしたら、この玉島のときどうか。玉島のときは、3億円では無理と。どれぐらいいるか。広さ問題もあります。物価の上昇も考えねばならない。そう考えると、4億少し、松ヶ本に比べたら1億円は余分に上がってることも考えれば、4億少々ではできるかなと。それでできるとしたら、補助金はどうなってるいうと、2億ぐらい出るだろうと。そしたら、あともうちょっと言うと、2億4,000万円近いお金が出るということですね。そしたら、あとは自前のお金と借入金で4億少々ならいけると。そういうことで去年の年末には市役所のほうにも話をした、担当の方もそれぐらいですかという返事もろてたからな。だから、こちらとしては何とか借入金はその分ふえるのは当然やけれども、老朽化ということはイメージとしてありますので、建て替えをして、安全な保育施設にしたいなど、そういう狙いがあったわけですが、ところが、東京オリンピックのためのいろいろな建築資材を見ますと、やはりどんどん上がって行ってますね。部品が不足してきていると。何でそうなるのか、別の世界のことなので、細かくはわかりませんが、部品まで高騰していくと。不足ということですね。近くでいうと、茨木市内にある建築中の2つの法人の園舎もどうやら、その部品不足とかの影響で4月に新しい園舎でいろいろな行事をやりたいということでやってたところが、それもできない。6月にずれ込むということを知りました。建築費は上がるわ、建築資材はそろわないわ、そういうような時代で、今の建築中でもおくれると。その後やとどうなるかということは、やはり一番心配になりました。そういうようなことが絡んでくると、やはり建築費も上がります。5億2,000万円ぐらいの建築費がいるのではないかと。初め想像してたより1億円余分にいることになる。どうするか。ますます建築費は上昇するかもわからんし、部品不足するかもわからん、いろいろな

そういう循環を考えたときに、とてもお金が限られているのに、無理してやって、高望みして右も左も向くことできないと、そういうようになっては大変だ。

それやったら、もう今のうちに先延ばしするというような形で今年度の建築は見送りたいということで、市役所のほうにも挨拶に行きました。そして、こういう事由なので、ちょっと今年度は手を挙げたけどおろさせてほしいと。何か途中でもしものことがあったときに、やはり一番先に迷惑かけるのは保護者の皆さんでもあるし、市役所にもなるし。私どもだけで済まない。周りにいろいろなところで波及効果が出ます。迷惑の波が重なりますので、それなら今のうちにとまって5月15日の手続を撤回させてもらったわけです。

保護者の皆さんにも、そのときからそういう法人の中身をご理解いただいて説明会を行ったんですけども、三者懇談会があるということで、それまで伸ばしたわけですけども、経過はそういうことで考えました。

私どもとしては、そんな状況で、1年のうちに建て替えられるかということがあります。建て替えられるかということ、やはりそれだけのお金のかかるのを下げる努力はせんと建て替えられません。建て替えるためには、1つは、この園庭に新園舎を建てて、こちらを運動場にすると。初めはここを建て替える場所と考えたんですけども、仮園舎を建てるお金を節約する必要がありますので、仮園舎を建てるかわりに、本園舎を運動場に建てると。そしたら5億円のうちの5,000万円ほど浮く。あともうやはり4億そこそこにするとしたらどうするか。あとはやはり建築費のかからない園舎にしたい。建築費のかからない園舎ということは、やはり木のほうがちょっと低下、経費を抑えやすい。木製の、いわゆる木造園舎、今のこれが木造園舎ですけども、こういうようなのにしてはどうか。その辺についても、こっちは素人で考えた案ですから、2、3の設計事務所に相談したところ、こういうふうには一度は、そういうようなんで木造園舎を建てているところが増えてきているということも知りました。

建築費を下げる1つの手段としては、だから園舎を、仮園舎を設けるのはやめる。そして、できたら木造園舎でいけたらどうかということ、私どものほうで設計屋さんにも可能かどうか聞いたら、設計さんはそれならいけるんじゃないかなということでしたので、それを考えてます。

そう言うてもまだまだ建築費が上がるかもしれませんので、必ず来年は建て替えますと言えるかどうか問題はあるんですけども、ちょっと建築費の高騰がおさまるまでは、こういう園舎を建て替えるのはよそでも、そういうような木造でと考えてますので、それでいかに得ないかなと思ってます。自前のお金がもうちょっと潤っていたら、また違いますし。お金を集めて木造でなく鉄骨造りの園舎が建てられるだけの自前のお金が、節約してたまった場合にはどうしてもええんやないかと思いますが、今のところでは、どこでお金を浮かすかというのと、仮園舎をつくらないということ、もう一つはやはり木造園舎でコストを下げると、この2つが大きなものかなと。3つ目としてやっぱり、今まで以上の節約をやっていかに得ないということになるんですけども、今も申しましたように、物価がどんどん、建築費、例えばここの地震だけでもかなり響いてます。案外、こちらのほうが影響なかったんかいなと思うんですけども、私どもの近くでは地震がきて、そしてその後、台風がきたと。そういうことで、私どもの近くですと、次々と建て替えていってます。それぐらい傷みが大きかった。ということは、それだけ建築関係の仕事が増えました。建築関係の仕事は増えて人手は足らん、どないしてるのか、建築へ聞くと、ここの辺の建築会社は関東へ行く人があるし、なら、ここはなくなってきたとどないするかいうと、中国、四国、あるいは九州あたりから車乗ってきて、で、しばらくここで仕事をしてまた帰って、また来ると。そういう建築業界の人手不足で高騰している。そやから、私どものほうもまだ、私の家もそうですが、屋根瓦、まだ落ちついてないと。私の家の隣も屋根瓦ふきかえたはずなのに、また壁が都合悪いからいうて、またくるんでやっていると、そういうような被害が出てますので、建築費が上がることはあっても下がることはないやろうと。まあいうたら、ここまでのお金を貯めたら必ずできるかどうかいうと、建築費用、いわゆるそういうなものも考えて結論を出さんといかん。そやから、できたら来年度、やりたいと思ってますけれども、今申しましたように、建築費はどんどん上がってきてますので、来年がひよっとしたら、できない場合があるかもわからん。再来年になるかもわからない。そういうようなことを考えながら本日も参った次第です。

ちょっと思わぬ事態になって、本当にご迷惑かけました。その辺をおわび申し上げますと同時に、見通しとしてはそのような見通しでいてるということもご理解いただければと思います。以上です。

(市) ありがとうございます。

ただいまの説明について、ご質問等ありますでしょうか。

(保護者) 済みません。多分皆さんも思ってると思うんですけど、オリンピックがどうとかで金額が上がるというのは、今までの三者協議でも保護者の側から何回も出てた話ですし、この建て替え工事が始まるって言い出したのが去年の年末か今年の頭ぐらい。それより前から地震も台風もあって工事もいっぱいしてる、オリンピックも決まってるってわかってたのに、この初めの予測が甘過ぎるんじゃないですか。市の方もそれぐらいかなっておっしゃられてたって言うんですけど、もっとこういう保護者までおろして、本当にやりますっていう前に、そういう事前準備をきっちりすべきやったんじゃないんですか。何回も何回も私たちこうやって出てきて、正直言って今までの時間は何かやったんやということをみんな思ってるんです。せっかくの休みに、子供との時間も割いてこの場に来てるのに、ほんまに何かやったんやという思いがみんな、まず大きいと思うんですけど、その辺、もしまた来年やりたいというのであれば、もっと初めにきっちり金銭的な見積もり取るとか、ある程度予測をもうちょっときっちりしたところまでしてから、やります、やりませんの話をこっちにおろしていただきたいと思うんですけども、どうですか。

(市) 事前の準備ということで市としてもある程度お話し合ったときに、実は今理事長がおっしゃったように3億2,000万円から1億円ぐらいは数字上がりますよと。それは想定範囲として、1億円といってもすごい大きいお金なんですけれども、これが1.5倍の5億円以上かかるというのは、ちょっと予測の範囲を超えてると言わざるを得ない。実はこの三者協議会で実際進めるとなると設計事務所さんにご相談とかいうような手続もありまして、もちろん想定はしているけれども、今回の場合はちょっと想定範囲を超えてるのかなと。私どもも一定その辺の建築費の高騰やオリンピックというのは見越した積算はしてます。ただ、現状も市の工事もそうなんですけれども、予算をとってもなかなか落札業者がないというような事態も起こってますので、その辺は一定、全然見込みがされてなかったのではなくて、今回、この三者協議会で承認をいただいてから、きちんと見積もりを取ったりとかいうことでされたのかなと。

(保護者) もうちょっと早い段階で何かわからなかったんですか。やっとな園長先生も皆さんに一人一人声かけてくださって、やっとな、さあ、前に進めるってなって、さあ、返事いつ来るのかなというのを待って

たら、申請できませんでしたって聞いて。何か、いただいた説明も書類の準備ができなかったみたいな説明だったんで、今回の説明とはまた違うんですけど、何て言っているんですかね、もう言葉がない。そう思ってる方がたくさんいると思います。もし、する、しないにしても、この園舎でいつまでやるのか、ずっとやるのか、建て替えをまたあと2、3年後とか来年にするのかわかんないんですけど、それまでの耐震とか強度老朽化してるということなので、そういう不安もあります。建て替えると思ってたのにしないって、それじゃあ、まだ残して大丈夫なのっていうのもあると思うんですけど。

(市) 建て替えをするのは理事長さんも今おっしゃったように、直ちに危ないからというよりも、今補助金がつく間に、先に予定している、要するに老朽化に向けたものを補助金のある間に前倒しでということですね。そういうふうに聞いておりますので、安全面などそちらのほうは確保されていると。この震災で何かあったとかいうことでもないですし、一定、その震災の耐震基準は満たしてると思うんです。ただ、今後、もともと市の所有物だったので、今後絶対に建て替えはしようというところのご判断やと、私どものほうは聞いております。

今理事長先生がおっしゃったように、しないわけではなくて、ただ、お金を1億円ご用意いただいたというのも想像できないお金なんですけれども、それが今後どういうふうに、消費税の増税もありますし、それがどういう情勢になってくるのか。一旦オリンピックがあるのと万博が落ちついてから、資材であったりとか建築費が落ちつくときに考えないといけないのか、将来のことまではちょっとわからないとは思いますが。

(保護者) でも、そのときに補助金がおりるかどうかわからないんですよ。

(市) それはわからないですね。ただ、こういう建物をお持ちのところは、一定、その建て替えをするための積み立てであったりとか、そういうのを前提に運営をされてるので、それが、例えば補助金があるとなれば前倒しをする、補助金がなければ予定をしていた時期に建て替えをする、というようなのが大体通例ですね。例えばマンションでもそうですし、将来ずっと同じものが建っているわけではないので、そういう運営をされてると。

(保護者) その予定の時期というのはいつごろなんですか。

(市) 予定の時期までちょっと。今、借入金とかその辺の状況もあるの

で、私のほうからは何とも言えないですけども。

(保護者) また今回みたいに突然に、また時期もあと3カ月しかないのに手挙げますというふうに言われるということですか。それがわからないということ。例えば、お財布の状況わからないですけど、来年、次の12月ぐらいにもう一回手を挙げる予定で頑張りますっておっしゃっていただいたら、その当たってる学年のお子さんとか親御さんは、わかりましたとなると思うんですけど、いつかわかりませんって言ったら、この先、ずっとこの保育園に預けるお母さんは、私のときか、いつなんやっせずとなると思うんですよ。今、節約してお金を貯めますみたいなことをおっしゃってたと思うんですけど、そしたら例えば、1年間我慢して一生懸命節約してためますと。2年後必ず手を挙げる準備をさせてもらいますとかいう、そういう具体的なことをやっぱり言ってもらわないと。こちらは一旦今年やと思って準備してたのに、ここで曲げられてるので、次こそちゃんと約束してほしいと。いつかは建て替えないといけないというのは保護者としてはわかってるので、補助金がおりの、おりないではなくて、自分のところで頑張れるところまで節約して貯めますっておっしゃってるんやったら、そこまで貯めてもらって2年後、ここで1回手挙げてみますみたいなことをはっきりしてもらったほうが保護者としては目安ができるのでいいんじゃないかなというふうに思うんです。けどそこも曖昧なまま、これからずっと過ごしていけるということですかね。耐震は大丈夫だっていうのはわかってるんですけど、今回も急だったと思うんですよ。補助金をもらうために出さなあかんから早く承認が欲しいみたいな、すごくこっちはせっつかれたと、そういう気持ちでずっといたんですけど、それがまためぐってくるっていうことですかね。それだったら最初からちゃんと時期を一旦確定してほしいなというふうに思うんですけど。

(法人) 建て替えについては、老朽化は進みますから、できるだけ早く建て替えたいと思ってるんですが、やはり建築費の関係がありますのでね、どれだけ上がるか、それも勘案せんといかんし。できたら、こちらの希望ですけれども、できたら来年度は何とかそういう建築費が今までどおりであるとしてやった場合は、建て替えたいなと思ってるんですけどね。けど、このまま建築費が上がる、いわゆるこれ、災害も絡んでますからね、今回の場合は。広島やら岡山、あの辺の災害もあって高騰していったわけですから、その辺がなかったら、できることならもう来年度建て替えたいと思ってるんですけど

ね。その下げる条件はグラウンドに仮園舎を建てないということが1つと、もう一つは建築費そのものを下げるのに木材で園舎を、ということを考えてますね。

(保護者) そしたら、法人さんとしては、来年度、手を挙げるべく準備はされるということですよ。補助金を市に申請する、来年度申請するために今から準備をされるということですよ。

(法人) そうです、はい。

(保護者) もうこれだけの準備期間があるから、今度はばっちり何とかかなりそうだと、お金のことがあってということがなく。

(法人) そういうことを考えたうえで。

(保護者) やるんですよ。

(法人) 物価が、建築費がこれ以上、上がらなかつたら、もう来年したいんです。

(保護者) ちなみに、私、さっきからすごくひっかかっているんですけど、過去の三者のときに、せつかくここは広くて、光もいっぱい入ってくるから、ぜひこっち側に園舎を建てて、南の光をすごく入れたいんだって、すごく熱弁されてたんですよ。それがお金のために、今度はその光をさえぎってあちらに建てるとのことですよ。それはどうなんですかね。私はそれはすごく反対なんですけど。

(法人) そやけど、建築費が。

(保護者) 子供のためよりも建築費ですか、そしたら。お金は大事だと思いますけど。

(法人) 園舎を建てるとしたら、そうしてでも下げざるを得ないと。

(保護者) 子どもに光が当たらなくても、お金、5,000万円のためだったら、あちらに園舎を建てるとのことですか。だって、ご自身でおっしゃったじゃないですか。光を入れて、子どものためについて言って。

(法人) 私は、向こうはやっぱり運動場に置いときたかったんです。

(保護者) そこは可能にはしてもらえないんですか。私たちはそれは賛成したんです。向こうに光を入れて、子どもたちに光が当たるところで体動かしてほしいというような気持ちで言っていただいた、そこは保護者としては納得をして、それはわかりましたってなったのに。そしたら、お金5,000万円のためにその今のお気持ちをひっくり返して光を入れない建物を向こうに建てると言われるような気がしてならないんです。それは私はすごく反対なんですけど。ほかのところの下げる努力とかいうのはないんですか。

(法人) ほかに、建てる場所ないでしょう。

- (保護者) いや、5,000万円浮かせるためにほかで努力しようとかってというのは、こっち側に建てる部分はもう建てるって、仮園舎を建てて、こちらに本園舎を建てるといので、もっとほかにも、例えば節約できる場所を考えるとかっていうのは。最初から向こうに、こちら側の意見聞いていただかずに、もう5,000万円下げのためにあっちに建てるしかないんやみたいな感じで言われてるのが、私はちょっと納得いかないんですけど。それで準備を進めるというのは。
- (法人) そやから、それだけのお金をためるゆとりがこの園舎にはないと思うんです。
- (保護者) 園舎はゆとりはないんですか。
- (法人) もう老朽化が進んでるからね。そやから、そう1年先、1年先伸ばすだけのゆとりのない園舎と僕は理解します。
- (保護者) 今すぐ潰れそうなんですか、じゃあ、この園舎。
- (保護者) さっき大丈夫って。
- (保護者) それはおかしいじゃないですか。今すぐ潰れそうな勢いで理事長おっしゃってますけど、今さっき大丈夫だって。
- (法人) いやいや、潰れそうだとするのは、老朽化がどんどん、1年先なると進んでいくから、もうそれやったらということです。
- (保護者) それやったら今建て替えないと危なくないですか。ここから1年先、これで過ごすんですよね。
- (法人) そやから、向こうに建てるのにどうするかということを、向こうに仮園舎を建てるお金を節約する。そして、もう一つは木造でもいったら、建築費が浮くと。
- (保護者) そのお金、仮にお金の話で、1億円ぐらい値上がりするから苦しい、厳しいっていう話じゃないですか。
- (法人) 上がってしまったからね。
- (保護者) 今の時点では。その1億円をこの1年間で浮かせるためにあちらに本園舎を建てる、木造にするとか、安くしたいよねっていう話であれば今年の申請でもよくないですか。
- (法人) 今年って言うても、市に出すときにはこちらへ仮園舎を建ててやりますということで手を挙げてたわけです。で、それを、そういう条件をなくして新たにこういう条件でやりますという意味表示を来年度にしなければならぬ。
- (保護者) それをしようと思ったら、今年度は書類は間に合わないみたいな話ですか。
- (法人) はい。

- (保護者) それは結局お金貯まらないということですよ。安くする、節約するから来年建ててるっていう話じゃないんですか。お金を貯めるというわけではないということですよ。1年待つことで節約して、お金を貯めるから来年度申請できるんじゃないなくて、ただ、建築費を安くするから来年度建てると申請ができるっていう話になってくると思うんですけど。
- (法人) いやいや、あのね。ここで初めに手を挙げたときは、こちらの運動場に仮園舎を建てて、そしてこちらに本園舎を建てますと、そういう意思表示をしてたわけですよ。
- (保護者) そうそう。で、それを生かしてほしいんですよ。
- (法人) うん、そうそう。
- (保護者) それを生かすために、じゃあ、変な話、年度が進むと老朽化が進むのももちろんわかってますし、でも耐震的には問題ないのであれば、それこそ来年、来年っていうよりは、2年後とか伸ばしていただいて、お金を貯めていただいて、思っている理想の形で。
- (保護者) ちゃんと準備をして、仮園舎も建てて。
- (法人) 初めですかにこちらが意思表示してた内容で。
- (保護者) そうそう。そうするべきではないのかなと思うんです。
- (法人) 2年でも先に伸ばして、そして初めに言ったようにやったらどうかというご意見ですな。
- (保護者) そうです。
- (法人) はい。また理事会でその辺は相談させてもらいますけどね。私どもとしては、やはりできるだけ早く建てたいということだったので、今お話ししたように、こちらの仮園舎は費用の関係でやめ、そしてこちらに鉄骨ではなく、今建築の技術が進んでいるので木造園舎が、ここに限らず、はやってきている、そういう時代でもあります。そういうことで仮園舎をつくらないで木造でやるんやったら、ここでやるのが来年度やったらできるなど。ただまあ、設計屋さんとも相談は必要ですが。
- (保護者) 木造だとか鉄骨とか多分誰も言ってなくって、とにかくこっちに本園舎を建ててほしいということをさっきから切にこっちは言うてるので。木造もそれもいいんじゃないですか。
- (法人) 木造でもいいわけですな。
- (保護者) それは全保護者に聞かないといけない。今は木造、鉄骨を誰も言うてなくって、あっちに本園舎を建てることはどうなのかって問題の話をしてるだけなので。

- (法 人) 私自身は、本当はこっちでやっぱりやりたいんですよ。
- (保護者) ですよ。
- (法 人) うん。
- (保護者) じゃあ、その自分のお気持ち大事にされたらどうでしょうか。
- (法 人) 基本やけど、先立つ建築費の関係でね、考えたらそうせざるを得ないかな。ええかっこして向こうへ仮園舎建てる、こっちへ本園舎建てます言うたけども、今の状況では無理なので、こういう案にせざるを得ないというのが私どもの考えですよ。できることなら、やはり私自身はこっちでやりたいです。できるのなら、鉄骨にこしたことない。けども、お金の関係があるので、考えたらそうなるかなという。
- (保護者) さっきから補助金ありきでずっと話してはるんですけど、市の人は毎回ちゃんと来年あるかどうか、補助金あるかどうかわかりませんっておっしゃってるんですけど、じゃあ、来年、お金たまったら建て替えますってなったときに補助金がゼロですって言われても、やっぱりちゃんと建て替えるんですけど、なくなることもあるわけですよ。
- (法 人) 補助金がゼロということですか。
- (保護者) 前提もあるわけですよ。市の方もあるかどうかわからないって毎回言うてはるじゃないですか。来年はわかりません、ことしはありますって。来年はわかりません、その次もわかりませんって言われてる中、すごい補助金ありきでずっと話しておられるんですけど。もし、補助金なしってなったときに、もう今年いっぱい終わります、来年からありませんって言われたときに、理事長はちゃんと建て替えるんですけど。全部お金を予算つくって。
- (法 人) これはもう、予算の問題は国にかかわってくるわけですね。私のちょっとわからないところの話ですけども、今は待機児童解消のための園舎がいるということでの補助金は出してくれてるわけです。それについては政治の世界でどうなるかわかりませんが、私としては、あと1年ぐらいやったらその補助金はあるんやないかという、客観情勢も。というのは、大阪なんかやったらやっぱり待機児童まだあるほうです。むしろ地方の待機児童が減っていったら補助金がなくなることも考えられますけどね。私どもとしては、そういう待機児童の多い間に園舎を補助金もらって建て替えたいと、これが1番。そう考えた場合には、できたらもう来年でも、その補助金がまだ来年はありそうやから、あるいはあるだろうと、希望的

観測かもわかりませんがね、それを利用して建て替えたいというのは本音です。

(保護者) じゃあもし、来年建て替えます、申請しますって。じゃあ、国が補助金、もう来年からなくしますって言ったら、1年間準備してきても、また建て替えませんか。今回みたいにお金ないんでみたいな。

(法人) 難しい問題ですね、そこは。

(保護者) 出る場合と出ない場合を想定して準備したらいいんじゃないんですか。簡単なことだと思うんですけど。社会人だったら大体2パターンぐらい考えて仕事ってすると思うんですけど。出た場合と出ない場合とを考えてつくったらいいだけじゃないんですか。すごい簡単なことだと思うんですけど。違いますか。普通社会人そうやって仕事しませんか、皆さん。すごい簡単な答えだと思うんですけど。

(法人) 答えは簡単なんですけど、額が1億円とか2億円とか。

(保護者) 2億円ですよ。だから、補助金出ないんやったら諦めるとか、出るんやったらやるとか、普通にできると思いますけど。

(法人) 単純に言えばそういうことですよ。補助金があるという体で今進めてます。補助金がないと。

(保護者) 補助金が出なくても頑張るんだっていう道をつくるか、補助金が出ないんやったら、もうすぐ諦めるんやとか、この辺まで金額あったらいくんや、いかんとか、そういうのって計画建てれると思うんですけど、すごく難しい問題なんだなとかって言われておしまっているのは、どうなのかなって思うんですけど。

(市) 理事長もある場合という体ではお話しされてると思うんですけど、ないという体になると、ほかの営利企業でどんどんと営利があつてというのも考えにくいところなので、その辺は長期のスパンでとか、その辺の収益性とかも考えて判断されると思うんですけど、ただまあ、その辺の答えはまだ難しいと。

(保護者) 多分今日はないと思うんですけど、今後、三者やるときに、このまま園舎の話になったときに、補助金がまだどっちか市はわからないんですってなったときに、絶対保護者から同じ質問出ると思うんですよ。補助金出なくても来年やるんですかみたいな。そのときにもまた同じようにちょっと難しいからわからないてなれば、多分こっちも納得し切れないうので、理事会を開かれていろいろご相談されるのであれば、その中でそういうことをお話し合いされて、次この質問が出たときに答えられる準備をしてきていただけたらな

と思うんですけど。

(市) いやいや。

(保護者) お金なくても建て替えるんですか。

(保護者) すごく渋い顔を皆さんされてますけど、何か私間違えてます。

(保護者) そのときも何かっていやって渋ってはったんですけど、そこから何カ月もたってますよね。

(市) 近々、例えばそういう構想が立ってからやる三者協議会であれば、補助金がつくという前提で進められると思うんです。それは間違いないと思うんです。でも、そこはいろいろ判断とかあるでしょうし。長期視野にたつてどれだけの経済的な状況とか、その辺について何年も先のことがどういう見込みかというところまでご説明いただけるかどうかというのは、ちょっと想定できないですけど、私ども三者協議会で進める限りは、一定、今回もいろいろ議論いたしましたけども、補助金があるということで進め、それに向けて準備ということも考えられるかなと。今、法人様のほうからもご説明ありましたけれども、そういう内容を今からどう検討されるかというところも含めて、今後またやるときにはそういう返答もいただけるのかなと、市のほうも考えてます。

(保護者) すみません。待機児童のための、そういう建て替えの補助金って何年前からあるものなんですか。急に、ここ1、2年じゃないですよ。

(市) やっぱり国でも待機児童は課題となっておりますので、今現在言われているのは、2020年度末までにゼロにする。一方、2、3年間はゼロを維持するということが国では言われています。今、予算として出ているのは2020年度末にゼロにするということで、子育て安心プランっていうんですけど、国でつくられたプランに乗せて、そこに市もその補助金を活用して、今建て替えなり、いろいろな政策してるところです。まだ国からその先のことっていうのは示されていないので、一旦は2020年度末と考えています。

(保護者) 2020年度末って今回が最後ですか。来年度もう一回が最後ですか。

(市) 2カ年でいくと、2019、2020です。

(保護者) 来年度は、ある可能性は。

(市) それを示されるのが、恐らく、国の次年度の予算をこれから要求されると思うので、そこら辺のことが市におりてくるのが、大体年末あるいは年始、1月ぐらいになってくる。そのあたりで何か情報があるかなと思ってます。

- (保護者) 今回までは、まあ、今回というか次の年度まではある可能性が高いということですか。
- (市) そう思ってます。
- (保護者) あるとしたら、またこの年末ぐらいから。
- (市) 何か出てくるのかなと。
- (保護者) 今回と同じような時期ということですね。今回言われたぐらい、年末年始ぐらいに、また建て替えたいですってという話、立候補しますかっていう話が出てくるということですね。
- (市) 国と市あわせて出してますので、市の予算も取らないと。市の予算要求というのが大体10月11月ぐらいになってきますので、その時点でどうされるのか。今年度から来年度にかけての予算は、今回、手下げられたので、これは使わないということになってきます。来年度どうするかですけど、そこもきっちり建替えをやるっていうお話をもらわないと。やるかやらないかわからないでは予算はなかなかとれないので、そこら辺も今後またちょっと法人さんと調整はしていかないといけないかなと思ってます。
- (保護者) 工事期間を長くとるために、一番早くやりますって準備申請をするためには、いつごろまでにそういう準備、申請準備が必要になりますか。
- (市) 一番早い協議で乗せていこうと思えば、やっぱり4月の協議なんですけど、4月の協議も申請自体はだんだん早くなってきますので、今年でしたら3月20日に一回目の補助金の締めがありましたので、それまでに決めていただくということにはなります。ただ市の補助金の段取り、予算の段取りもありますので、そうなりますと、もう年内には決めないとということになります。
- (保護者) 年内ですか。
- (市) 今回も12月ぐらいでお声いただいて、そこから予算要求して乗せてますので、それぐらいになるかなと思ってます。
- (保護者) じゃあ、園の理事長としては、年内にやるかやらないかをきっちり決めて、保護者にまたおろしてくるって考えていいんですか。
- (市) そのためには年内ぐらいに決めていただくぐらいかと。
- (法人) そうなりますね。やる、やらないにしても、もうしばらく先にはこれは答え出さんといかんと思ってます。それはやっぱり保護者の皆さんについても、あるいは地域の人についても同じことを言うと思うんです。いつまでも話を長引かせるべきではないと思いますので、できるだけ早くということには考えています。ただ、今、皆さん

のご希望とちょっと沿いにくい思うのは、仮園舎の問題が絡んできますね。仮園舎だけで大きなお金がいるわけですから、その辺ちょっとご理解いただかないといかんかいなと思うんですけどね。やっぱり仮園舎建てるだけの、約5,000万円ほどのお金というのは大きいです。それを1つ、あとは木造にするか鉄骨でいくかということが1つですね。木造にするか鉄骨でいくかはご理解いただけるかなと思うんですけども、一番困るのは、やっぱり園庭を南側にもってくるか、逆にこっち側にやるかで、これについてもできることならやっぱりご理解いただきたいと思うんですけどね。そういう方向になれば、もう結論として来年度で目指して頑張りたいと思うんですけどね。

(保護者) 来年度、申請される予定でもう動くということでお気持ちはいいんですよ。来年度、申請されるおつもりということでいいんですよ。

(法人) はい。

(保護者) だったら、年内にやるかやらないか決めるということは、園舎をどこに、仮園舎をどうするのかとか、また次の年度のことも考えていかないと。

(法人) となれば、やはり保護者との共通理解を得てからでなかったら。

(保護者) その話を早くまたしないと。もう言っても年内ってあと半年、6カ月しかないんです。

(法人) そうそう。だから、できることならここと運動場との入れかえということもご理解いただくと進めにくいかいなとも思ってるんですけどね。

(保護者) 多分、今までの流れからして、急に、はい、できませんでした、やっぱりこっちにしますって言って、はい、わかりましたって、みんながあっさり賛成するとは思えないので。

(法人) だから保護者の皆さんの、それについての理解と協力が。

(保護者) そのためには何か申されるつもりはありますか。協力を得るために協力してほしいなってここで言っても、みんな協力できないと思うんです。

(法人) そりゃそうですね。

(保護者) そのためには早めに、全員に納得してもらおうように。いいですよって言うまでにはちょっと時間もかかると思うので。

(法人) できることなら、もう早い目にその辺の共通理解を得て進めたいですね。

- (保護者) 何かしらそういう話を、もうちょっとちゃんと設計事務所さんと話を詰めていただくとか、ほかの、こっちに園を建てるために何か策がないのかとか、ちょっとしっかり早く考えていただかないといけないかなと思うんですけれども。
- (法人) 自分自身の理想は、もう初めからお話ししてるように、ここに建て替えて、その間、仮園舎でしたけどね。だけど、それはもうお金の関係で無理かなと思うし。もう一つ、お金を節約する1つは、やはり木造にしたいなという気持ちがありますね。そしたら、ぐっと建築費が下がるのでね。本当に建築の世界はどんどん進歩しますから、木造いうても、今、私どもの家も先ほど言うたように、北部地震で建て直したところなんか見てますとね、昔やったら柱建てて、で、それこそ左官屋が入って壁を塗ると。そやけど、このごろそういう時代やないですね。何かものすごい壁でぽんぽんっと張って、壁板ですね。そしてやっていくと。だから、強度やら考えたら、そのほうがええようなことを言われますしね。そういうように木造そのものも鉄骨と比べてどうかいうと、そう差はないのん違うかというぐらい、もともと木と鉄の違いはありますけれども、そんなんはあまり考えられないと思います。
- (保護者) みんなそこまで、鉄骨、木造にそんなにこだわりはないと思うんです。強度がちゃんとしっかりとしていれば別に木造でも全然問題はないと思うんですけど。
- (法人) できることなら、皆さんのご理解をいただいてからと。
- (保護者) そのためにも早く動いてほしいんです。前回もどうしようという状態で、ずるずるといってしまって、結局、もう間際になって、時間がない、もうこれ今回通さなあかんみたいになって、最後は、わーって感じになってしまったので、そんなことないように、年末申請しますってはっきりできるように、してほしい。今からでも早くはないと思うので。
- (法人) だから、きのうも2件の設計屋さんとはいろいろ情報交換してるんです。
- (保護者) そういうのをちゃんと示していただいて、保護者のほうにもちゃんと話をさせていただきたいと。
- (法人) そして、できるだけ皆さんの期待にこたえられるような建物でやりたいということで、きのう2件、その前1件の建築屋とね。やはりどうしたら安くて、しかも格好よくてっていうかね、話はしてるんですけどね。なかなか個別のそういう話をしながら情報を集める

ので時間がかかってますけどね。私どもはそういうことを何でやるかという、先ほどからおっしゃるように、できるだけ早く結論を出したり、できるだけ早く前向きな答えを出したいというのが私の気持ちなので、その点ではこたえられるように努力を、これからも進めていこうと思います。その点でもご理解いただきたい。ただ、大きな問題はね、運動場どうするか、これも大きな問題ですし。一つ一つ片づけていこうと思う。

(保護者) 園長先生はどう思ってるんですか。先ほどからずっとお静かですけど。先生は子供をここで保育する立場として、先生の夢とか希望いっぱいあったと思うんですけどね。先生はあっちに本園舎建てて、こっちでグラウンドするっていう話は今聞かれたんですか、それともちょっと前から実は知ってたとか。

(法人) 実は、その件については、工期を短くするとかいうようなことも考えて、うちの職員の中では園庭に園舎が建ってもいいんじゃないかというのは、早く建て替えの話が出たころから職員として、私も含めてそれはあったんです。それこそ三者で理事長の夢というのはずっと聞いてましたので、きっと貫かれるかなっていう話はしてて、うちの看護師なんかも、今すごく気温が上昇してるので、少しでも影が、早い時間帯に影ができればいいと。ここの立地を見たときに、その周りにとてつもない大きなビルが建ってるわけでもないのに、こっち向いてもそこそこの光はとれるんじゃないかないう話は、実は職員ではしてんたんですね。それより、もう早く動けたらいいなというのと、今も話をしてるのは、確かに話が去年の暮れにばたばたっと出て、今回も正直えっというのもあり、職員に伝えるのにも、職員もえっという感じだったけど、遠い先ではないところで建て替えはきっと来るだろうと。理事長とずっと話を伺ってる中で、私たちが確認してるのは、そんなに遠い先ではないというところら辺で、私たちは、そのとき、そのときで子供にとにかく我慢させたり、子供を犠牲にするようなことではないということと、私たちがもう、新しい施設ができるのであれば、私たちも夢を持った保育ができるような施設にしてほしいなっていうのは共通してます。先ほど保護者の方から、そのために何をしてるんやっていうことで、それこそ、いつ進めると言われてもいいように、私たちもしっかりと自分たちの思いであるとかいうのを資料をこしらえながら、しっかり準備はしておこうねっていう話は職員間ではできてますし、私たちはどういう保育をしなきゃいけないのかという、そこだけを揺るがすこと

なくもっていようね、それをできるかできないかは、本当にわからないけれどもって言うところで、それぞれ分担しながら職員は自分のやるべきことをやるということは確認し合っております。

前ものときもやはり、まだ子育て中の職員もたくさんいます。自分の子供を預けてるところが建て替えたということを経験してる保育士も何人もいます。それこそ、仮園舎を経験してる者もいれば、逆に園庭に建ったということを経験してて、住みやすいとか、住みやすくないとか、どう変わったとかいうのをみんなで共有しながらという場も持っていますし、結論としては、いつでも走れるようには準備をしておこうという確認はしています。やっぱり夢のある保育はしたいです。

(保護者) 設計事務所の先生と話しされる時、園長先生は入ってるんですか。入ってない。

(法人) まだ入っておりません。

(保護者) そういう実際に保育してる先生のお話も踏まえて、初めにそれを踏まえた見積もりとか設計をある程度してくれたらいいと思う。また、初めに思ってたのとやり出して違うっていうことが出てきたらどうかなと思いますけど、その辺は法人さんのほうでお願いします。

(市) ありがとうございます。

よろしいですか。では、その他について、何かご意見ありましたら。よろしいですか。

ありがとうございます。

以上で本日の案件は全て終了いたしました。

それでは、これで本日の三者協議会を閉会させていただきます。

本日は長時間わたりご協力いただき、ありがとうございました。